

改善計画書

施設名 いなべ市立治田保育園 (担当者 小寺 淳子)

(作成年月日 平成29年3月28日作成)

(施設として特に優れている点) やりとりして続けること	1	地区の老人クラブや高齢者の方との交流、また、小学校との連携等、地域に根づいた行事や活動に取り組み、地域とのつながりを大切にした保育を行っている。						
	2	豊かな自然と触れ合うことができる恵まれた保育環境にあり、戸外で体全体を使って遊んだり体づくりを兼ねて園外に出かける機会を多く持っている。						
	3	今年度より0・1歳児を受け入れ、異年齢の関わりを大切にした保育内容を計画し、普段の生活(毎日の体操や園外保育)や新入園児歓迎会・七夕会・夏祭り・運動会でのリード等相互の交流によって、大きい子は小さい子への思いやりや責任感を身に付け、小さい子は大きい子を慕う等よい姿がみられる。						
	4	いなべ市では、子育て支援の取組として「いなべ市チャイルドサポート事業」を実施しており、保健・保育・教育・障がい福祉の各部門が連携するシステムが構築されており、各種相談・連携窓口がフローチャートで明確化している。						
	5	職員間のチームワークや風通しがよく、連携・コミュニケーションがとれており、やりがいを持っている。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐできること	1	地域の保育ニーズに基づく公益的な事業・活動を行う。	事業・活動の活性化に向けて取り組む。	1年	平成29年4月	平成30年3月	民生委員・児童委員等と交流をしていく。また、現在月1回行っている園庭開放を月2回に増やしていく。	園長・主任
	2	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明する。また、保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行う。	入園説明会等ではわかりやすく説明をする。また、利用終了後の相談についても担当者や窓口を明確にし、書面等で伝える。	1年	平成29年4月	平成30年3月	今後も全職員で入園のしおりを見直し、必要な物品のリストや見本を用いる等してよりわかりやすく説明をする。また、利用終了後の相談については終了前に書面等で知らせる。	園長・主任・職員
	3	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行う。	定期的に利用者満足を把握し、把握した結果を分析・検討する仕組みを整備する。	1年	平成29年4月	平成30年3月	保護者にアンケートを出し、その結果を全職員で検討する。	園長・主任・職員
	4	利用者が意見を述べやすい体制を確保する。	職員から保護者への積極的な声かけや保護者が意向・要望を伝えやすい仕組みを工夫すると共に、定期的に意向調査等を行う。	1年	平成29年4月	平成30年3月	保護者からの相談や意見・提案に対しては、今後も全職員で対応方針や改善策を協議し、申し出た利用者に配慮したうえで公表する等信頼を高められるようにする。	園長・主任・職員
	5	外部からの侵入等に対する防犯対策を行う。	利用者の安心・安全を高める取組をする。	1年	平成29年4月	平成30年3月	現在行っている対応状況(園舎の施設について・治田駐在所や地域協力員による見まわり体制等)を保護者にたより等で伝える。防犯カメラは平成28年度に予算化され平成29年度に設置予定である。	園長
工夫すればできること	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
予算化しないとできないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							